

神奈川県作業療法士会平成17年度第1回理事会議事録

日 時：平成17年5月10日 18:45～21:05	場 所：神奈川県作業療法士会事務所
出席者：長谷川会長 鶴見 清水 錠内 浅井 浅海 亀ヶ谷 作田 鈴木 長谷 松藤 松本 三川 田中 理事外：佐藤 田中 岩野 澤口 山田 鳥畑 野本	
議 題	内 容
1. 会長挨拶 2. 理事役員挨拶 3. 担当決定 4. 各部報告 学术部（三川）	<p>就任の挨拶 本会の最後に実施</p> <p>別紙資料あり 承認事項 部員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認内容 山田さん 事務局員だが学术部員になることは可能か？ 問題なし 林さん 本人は責任を持って出来るのは1年間の任期を希望 任期の規定はないので引継ぎが出来れば問題なし ・認定団体の申請 名称：小田原OT勉強会 実施報告（別紙） 承認 認定日については、県士会が認定した時点で決め、公開する。 <p><意見> 作田：会の開催についてはweb上に掲載してはどうか 浅海：定期的に活動していることが報告されればよい 会長：活動報告・実績報告の期限を決め提出することでよいだろう。 鶴見：認定前後の条件付け（定期的な活動報告等）を明確にする必要はあるだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その他 神奈川県ケアマネージャー協会 理事について 現在は理事三川氏（前任者鈴木氏）。 検討事項：講習会等の講師については、前任者からは担当が必ず行う必要はないと引き継いだ。現在までに一昨年一回（三川実施）のみ、昨年は依頼なし。 本協会は、老人関係の内容が多く、現担当は分野も違うため内容が理解しにくい、（他の理事は年配者が多い）適任者が他にいないのか 活動内容：理事会 2～3回/年 研修1/年 会場は県士会事務所そば（日本通り駅そば） <p><意見> 会長：NPO団体を県士会がバックアップしていく形で協力す</p>

<p>ウェブサイト管理委員会（作田）</p>	<p>る。</p> <p>浅海：OTとしてケアマネージャーと連携をとることは必要。理事（県士会）から理事（ケアマネ会）をださなければいけないのか？</p> <p>錠内：誰を理事に推薦するかについては、団体から推薦依頼が県士会にきたときに再検討する。</p> <p>1．運営方針：県士会員に利益があるかを基本にしている。</p> <p>浅海：掲載のルールを決め、ウェブ上に載せておくと記録にもなるし良いのではないかと、担当が一人で管理にならないほうが良い。</p> <p>2．活動計画</p> <p>OT協会データベース管理への参加（？）</p> <p>鈴木：どの情報までを誰が閲覧できるかが不明。</p> <p>清水：協会がどのくらいの情報を出すのかも決まっていない。</p> <p>作田：本年度内に実施はない。</p> <p>3．予算計画</p> <p>支出：</p> <p>サーバーレンタル料（長谷）前回の予算にあり可 交通費・パソコンソフト代（長谷）ウェブ管理委員会の補正予算で組む。</p> <p>4．検討事項</p> <p>委員候補 承認</p> <p>5．運営における確認</p> <p>掲示板の運用について：活発にするには管理者のみでは無理なため理事の方の協力も必要になる。</p> <p><意見></p> <p>清水：会員管理は財務か情報統計部かあるいは事務局になるのか？</p> <p>松藤：情報統計部のパソコンの保管場所の管理およびウェブ管理については検討が必要と思う。</p> <p>錠内 1年かけてセキュリティーを情報統計部が中心に再検討していく必要がある。</p> <p>鶴見：ひとつのパソコンで管理が出来ないと協会のモデル事業には応募は出来ないだろう。</p> <p>すでに行っている県もあるので、環境面を確認してから進めていく必要があるだろう。</p> <p>作田：一般向けの内容の充実も進めていく。</p> <p>他県の学生からの求人の問い合わせが多い。</p>
------------------------	---

広報部（松本）

1. 連絡先は理事所属の変更に伴い、横浜市総合リハビリテーションセンターに変更あり。
2. 113号チラシの締め切り日変更 5月10日 5月24日
3. 対外広報班より報告（岩野班長より）
3つ折のパンフレット作成 OK
若干ことばの訂正あり
印刷部数は、配布先により違う。
鶴見：訂正の締め切りを決め担当者に連絡をする。
部数を補正予算についてはメーリングリストで確認。

検討事項

- ・補正予算（別紙） メーリングリストで確認
長谷：現時点での年会費以外の収入源は學術部の講習会の受講費のみが現状
- ・モデル事業の応募（締め切り5月10日のため事後報告）承認
- ・YOTEC（AHL）への参加 承認
- ・パンフレットのデザイン・内容 ことばの訂正を担当に連絡する。

<意見>

- ・推進月間について
会場

浅井：ウィリングは駅から奥に入るため、会場を検討してはどうか？開催終了後すぐに来年の契約をするが解約は可能であろう。

錠内：解約は可能

岩野：反省会でもあがっている。来年度に向けて会場の検討はしていく。実行委員会で検討し理事会に上げる方向で考えていく。

錠内：毎年検討しているが、使用部屋数を考えると候補がない。一般の方が入場しやすい場所は少ないのが現状。検討していく。

アクティビティ体験について

浅海：七宝焼きにした経緯は何か？（金額的に単価が高い、またあまり臨床では使用していないか？）持ち帰ってもらえるものが良いのか？体験を多くするのはどうか？

岩野：去年の実行委員で決定。出来上がり良い事と評判も良い、作業時間も短い。

承認

4. 新部員 承認

<p>福祉用具検討委員会 (亀ヶ谷)</p>	<p>1. 派遣依頼の件 神奈川県ともしびセンター福祉用具専門相談員の推薦・派遣についての依頼 現在先方と連絡調整中</p> <p>錠内：県士会から委任状を発行する。 県士会で把握するため、神奈川県士会の肩書きで出席するものについては全て、単発でも委任状を発行する。</p> <p>2. 報告事項 平成 17 年度作業療法推進活動モデル事業への応募（5 月 10 日締め切り）応募済み 決定は支部会議で学会前日（6 月中旬）に決定予定。 総括については広報部が行う。</p> <p>モデル事業の広報について 浅海：介護予備軍（60～70 歳台）の方たちが興味を持てもらえるように公民館等にも配布したらどうか。県内の広報誌の利用も検討（神奈川マリオン等）メーリングリストで確認。</p> <p>3. 新部員 承認</p>
<p>福利部（田中）</p>	<p>1. 報告事項 新人オリエンテーション 7 月 2 日（土）横浜リハ専門学校予定 新入会員に各部の紹介を行うため各部 1 名は最低出席するように調整をする。</p> <p>2. 協議内容 求人・求職のシステム 求人バンクや株式会社からの依頼あり 対応：団体の概要を提出し判断している。人材派遣業者（相手に利益があるもの）は不可 鶴見：掲載のときは半期に一度くらいの頻度で理事会に出し確認をしていくのはどうか？ 浅井：協会員の福利厚生のために行うことが基本。 斡旋の証拠がこもることは問題になる。</p> <p>県外施設の登録を今後どうして行くか 例：県内の養成校の学生で、東京・埼玉の就職を探している。 基本は県内の施設のみの情報後紹介。 鈴木：学生に紹介するのはどうか？ 未来の会員ということではどうか？ 浅海：学校では他県の情報は各都道府県士会に問い合わせさせている。</p> <p>3. 新部員 承認</p>

<p>情報統計部（松藤）</p> <p>財務部（長谷）</p> <p>5.その他</p>	<p>引継ぎは未実施のため次回の理事会で報告する。</p> <p>会計のメについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半期（9月くらい）一回清算し財務が一括する。 2年間を4期に区分し管理する。 ・通帳を一括にするための書き換えを行う。（5月24日実施予定） <p>・清水：都道府県連絡協議会から活動報告がCD-ROMで送付されてきた、事務局で管理する。内容によりWEB上で閲覧できるようにしても良いだろう。</p> <p>・錠内：実務者研修会（6月26日学会最終日） 組織・保健・倫理関係の3セッション開催3名の参加者が必要。調整</p> <p>・推進モデル事業：支部長会議で決定</p> <p>・全国研修会 平成18年度関東甲信越支部で開催予定 開催地募集中。（平成17年度は石川県）</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--

報告者：野本義則 書記：鳥畑真理子
文責：錠内広之